Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構　ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.209

2025 10.29(水) 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆発表者紹介
12:15-12:40 ◆プレゼン
12:40-12:50 ◆質疑応答

オンライン (Zoom)
登録はこちら

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_5tONqAzsTPyCVIR_NISMmw

【技術支援】九州大学 Q-AOS

個人の意思は社会が決める？ 社会システム理論から見た世界

16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

Key Words
ニクラス・ルーマン
社会システム理論
個人の意思

鈴木 篤 准教授
九州大学人間環境学研究院教育学部門

大阪大学において人間科学を学んだ後、広島大学大学院において教育学の学問的研究に取り組みました。修士課程や博士課程においてはドイツの教育学や教育哲学を専門とし、ドイツのベルリン・フンボルト大学とテュービンゲン大学にも研究滞在をしています。教育学に関する博士号を取得した後、兵庫教育大学の助教、大分大学の准教授を経て、2021 年から九州大学の人間環境学研究院ならびに教育学部で研究と教育に携わっています。社会学者ニクラス・ルーマンの社会システム理論を用いたシステム間関係の研究ならびに日本とドイツの教育学の歴史的発展過程の研究に取り組んでいます。

私たち人間はふだん、一人ひとりが独立して暮らし、自らの意思で自己決定していると考えています。しかし、実際には私たちは常に何らかのシステムとのつながりの中で暮らさざるをえず、それゆえ世界に何らかの意味を見いださざるをえない存在でもあります。私たちの意思決定は、実は社会に存在する様々なシステムによって生み出されているものでもあるのです。

本日のセミナーでは、ドイツ人社会学者 N. ルーマンの社会システム理論を手がかりに、私たちが社会の各システムからいかなる影響を受けているのか、その上で、どのように意思決定をしているのか、考えてみたいと思います。

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-092-802-2605